

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月16日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設多核種除去設備(A)の処理水移送ポンプ出口空気作動弁のグランド部からの漏えいについて】 既設多核種除去設備(A)の処理水移送ポンプ出口空気作動弁のグランド部からの滴下を確認。 水溜り範囲は、下部床面に約10cm×15cm×深さ1mmを確認。 滴下した水は、処理後の水であり既設多核種除去設備の堰内に留まっており、建屋外への漏えいには至っていない。 グランド部の増し締めを実施し、滴下が停止したことを確認。 当該漏えい箇所を袋養生、および滴下した床面のふき取りを実施。 今後、当該弁を点検予定。	GⅢ	10月10日